資料2

未定稿

第6次川島町総合振興計画 基本構想・基本計画
第2期川島町まち・ひと・しごと創生総合戦略

概要検討資料

（令和2年9月30日）

政策推進課

0　本検討資料の構成

〇総合振興計画の構成を想定
　第6次総合振興計画の本格的な策定作業を進めることから、同様の構成で作成を進める。

〇構成案は以下のとおり

1　はじめに（町長あいさつ）

2　町章等・目次

3　総合振興計画とは（計画期間）

4　川島町の今（現状分析）

5　川島町に必要なこと（課題）

6　基本構想

7　基本計画

8　資料編

〇今後の策定スケジュール

9月　総合振興計画概略案作成、町民アンケート実施

12月　総合振興計画骨子案（概略）作成

3月　総合振興計画骨子決定

6月　総合振興計画素案作成

7月　パブリックコメント実施

9月　総合振興計画策定

1　はじめに（町長あいさつ）

〇社会情勢の急激な変化
・人口減少社会の本格的な到来
・少子高齢化、情報化社会の急速な進行
・住民ニーズ、行政需要の多様化

〇町制施行50周年

〇新型コロナウイルス感染症による社会の変化
・新しい生活様式

〇積極的に「変化」する

〇「協働」のまちづくり

〇ＳＤＧｓ
・持続可能なまちづくり

2　町章等・目次

〇町章、町の木・花・鳥、宣言を記載する。

〇目次を記載する。

3　総合振興計画とは（計画期間）

〇次の10年間のまちづくりの道標となる。

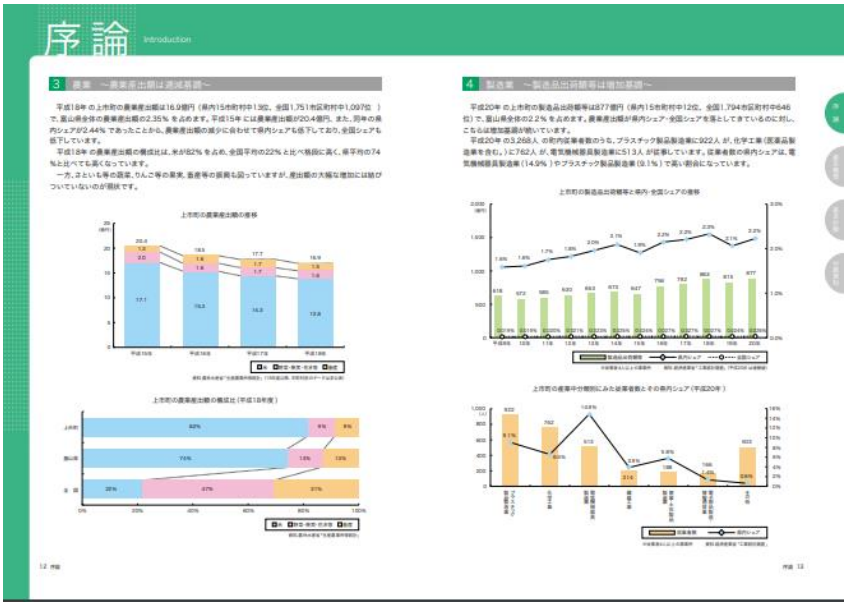
〇町の進むべき方向性をみんなで共有する。

〇令和3年度から12年度までの10年間を計画期間とする。
　前半5年を前期基本計画、後半5年を後期基本計画とする。

〇まち・ひと・しごと創生総合戦略と一体化する。

4　川島町の今（現状分析）

〇各政策分野のグラフを中心に掲載する。
・主に明治大学による分析を掲載する。
・第５次川島町総合振興計画では各章に掲載していたが、今回は頭出しする。
・R2.9月実施の町民アンケート結果をグラフ化して整理する。
→見開きで川島町の現状がわかるように整理。（※分析資料作成中）



5　川島町に必要なこと（課題）

〇次の10年間で取り組むべき課題を提示する。
・明治大学が設定する課題を中心に記載する。

〇次の4項目を課題（案）とする。（明治大学検討内容、職員プロジェクトチーム作成のワークシート及び後期基本計画評価、実施計画より。表現は暫定。）

①持続可能なまちづくり、 ②つながり（コミュニティ）の強化、
③新たな価値の創出、 ④教育・子育ての推進、
→この4項目に対応する政策を戦略目標として設定する。
（課題と政策の連動）

6　基本構想

1）基本理念

・まちづくりの方向性を示す「シンプルで伝わりやすい」キャッチコピーを作成する。

★キーワード

変化、シビックプライド（町への誇り、自慢）、未来、可能性、創る、継承、…

2）将来推計人口

・川島町の人口の将来展望を示す。

・推計グラフは、①現状を基にした推計人口、②社人研推計の2本を記載する。

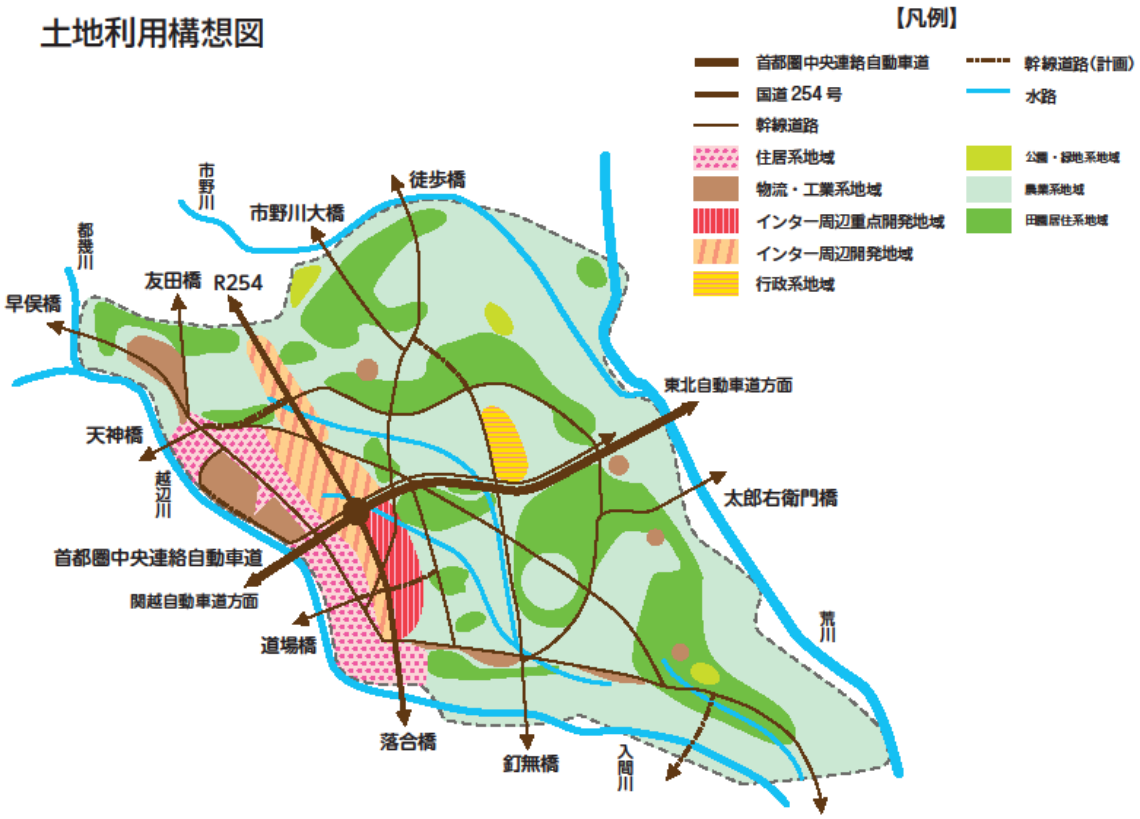
・関係人口や昼夜間人口について掲載する。

・後述の資料編に、人口ビジョンにおける将来見通しを掲載する。（2060年まで）

6　基本構想

3）土地利用構想

〇次の構想図を掲載。（※検討段階のため取扱注意）



〇凡例説明文は、次のポイントを明記する。

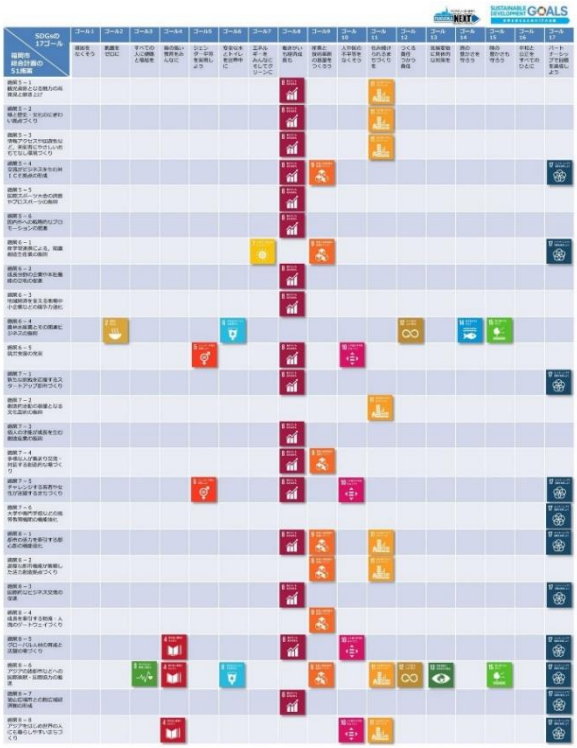
・川島インター南側地区開発地域の重点化
・庁舎から川島中学校までを行政系地域として指定
・高台避難所の位置づけ
・実現性のある道路計画

6　基本構想

4）ＳＤＧｓの推進

・ＳＤＧｓに向けた取組を推進していくことを記載。
・ロゴマーク一覧を記載する。

※後述の基本計画にＳＤＧｓ対応表を掲載。

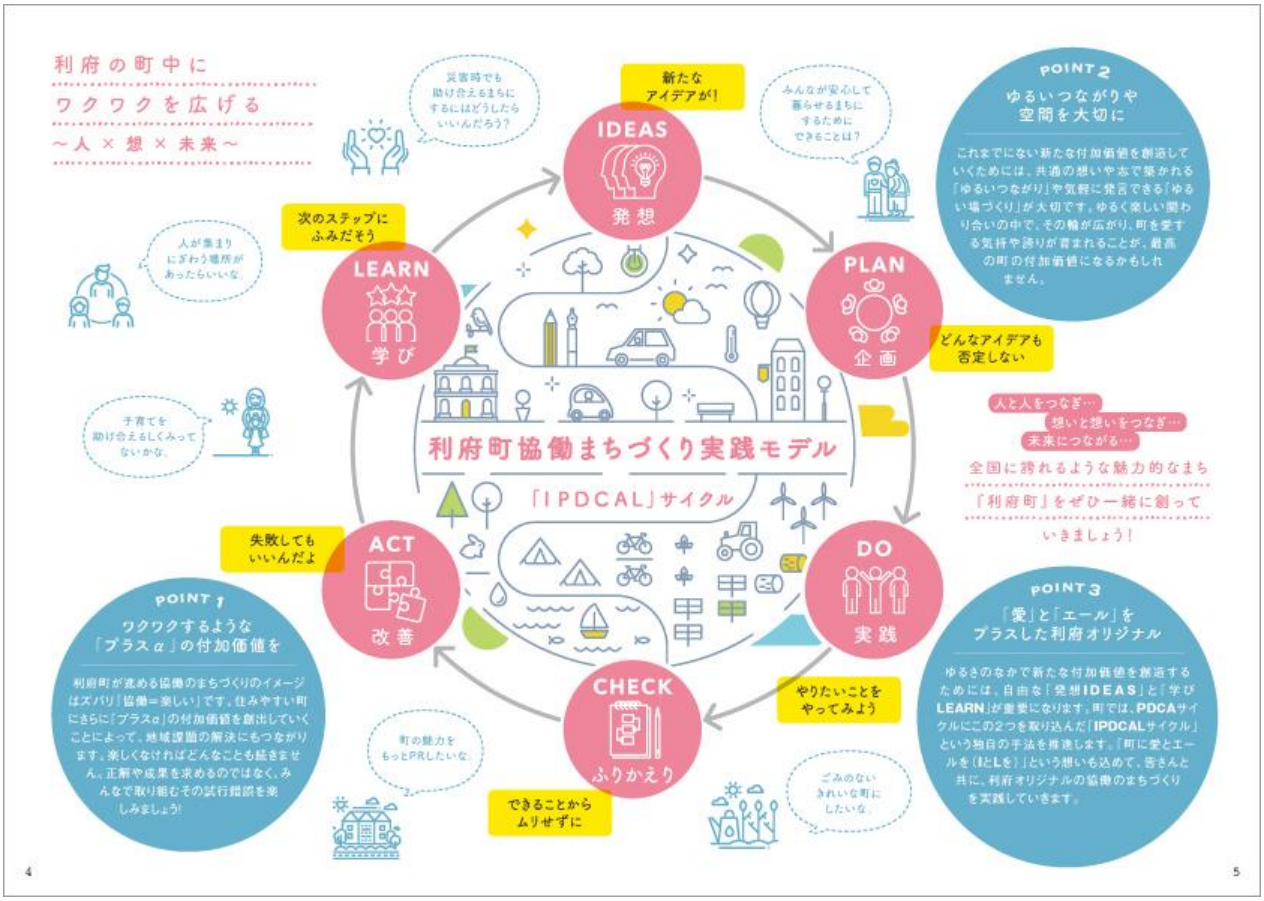


6　基本構想

5）計画の推進方法

・<u>行政と町民、民間企業が一体となってまちづくりを推進</u>していくこと、ＰＤＣＡサイクルを一緒に進めていくことをイラストで表現する。

例：宮城県利府町作成冊子「協働のまちづくり」



6　基本構想

6）戦略目標の設定

・前述の課題を踏まえ、以下の４項目を戦略目標とし、その実現に向けた重要施策を設定する。

・この4項目を総合戦略として位置付ける。（4つの戦略目標と8つの重要施策）

・今後、各戦略目標に当たる数値目標を検討する。

1　まもる「未来に続く安全・安心な暮らしをまもる」
●災害に備える環境整備
●協働によるごみ処理の適正化

2　つなぐ「未来に向けて人と人をつなぐ」
●つどいの場の創出
●多様な手法による情報発信の充実

3　つくる「未来へ輝く稼ぐ地域をつくる」
●川島インターチェンジ南側地区開発の推進
●地域資源の総動員による稼ぐ力の向上

4　そだてる「未来を担う子どもたちをそだてる」
●学校規模適正化の推進
●未来を担う子どもたちの育成

※第1期総合戦略では基本目標４、推進施策９、具体的な事業41で構成。

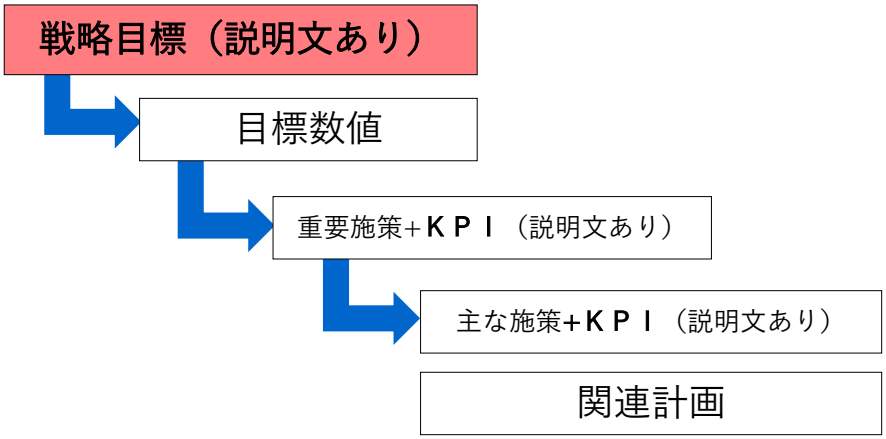
7　基本計画

1）基本計画の構成

・４項目の戦略目標に含まれる施策を掲載。

・通常は、政策分野ごとに組み立てるが、今回は目指すべき方向性、まちづくりの考え方が明確になるよう戦略目標を基準に構成。
（総合戦略における戦略目標は、政策間を横断的に捉え、政策間連携を意識したものが望ましいとされているため、これを満たす。）

2）基本計画の階層



3）戦略目標の概要案

・4つの戦略目標ごとの概要案は次のとおり

・今後、職員プロジェクトチーム、明治大学、埼玉縣信用金庫、審議会等で詳細に作成。

7　基本計画

1　まもる「未来に続く安全・安心な暮らしをまもる」

【背景】
・近年増加する自然災害に強いまちづくりを進める。
・ごみの減量化を中心に循環型社会を形成し、将来にわたり持続可能なまちづくりを進める。
・高齢者や障がいのある方を含め、誰もが安心して暮らせるまちづくりを進める。
・道路や上下水道などのインフラを維持する。
・歴史、文化を継承する。
・基幹産業、原風景としての農地を保全する。
・持続可能な行財政運営を推進する。

【目標数値（案）】

防災拠点の整備箇所数
ごみの減量化

【重要施策】

●災害に備える環境整備
・高台避難所をはじめ、災害に備える防災拠点を整備する。
・町民一人ひとりが自身で身を守る力を醸成する。

●協働によるゼロ・ウェイスト社会の実現
・ごみ処理施設の今後の在り方を明らかにし、持続可能な処理体制を整える。
・町民一人ひとりが循環型社会の形成に向けた取組を理解し、推進する。

【主な施策】

●自治・コミュニティの振興
●消防・防災体制の充実
●福祉のまちづくり
●障がい者福祉の充実
●高齢者福祉の充実
●社会保障の充実
●芸術・文化の振興
●人権の尊重
●交通安全の推進
●消費者保護
●ごみ処理適正化の推進
●循環型社会の実現
●公園・緑地の整備
●河川環境の整備
●住宅・住環境の整備
●上下水道の整備
●道路の整備
●公共交通機関の充実
●農地保全の推進
●適正な行財政運営の推進

7　基本計画

2　つなぐ「未来に向けて人と人をつなぐ」

【背景】
・町民一人ひとりが安心して暮らせるようコミュニティづくりを推進する。
・情報発信の充実により双方向のコミュニケーションを創出する。
・町民それぞれに合ったコミュニティを創出する。
・子どもからお年寄りまでがふれあう拠点を創出する。
・生涯にわたり活躍できるコミュニティを創出する。
・関係人口の増加により新たなつながりを創る。
・広域連携により他の自治体と多様なつながりを創出する。

【目標数値（案）】

公式ＬＩＮＥの友達件数
つどいの場の箇所数

【重要施策】

●つどいの場の創出
・子どもからお年寄り、外国人までが集う場をつくり、生きがいを醸成する。
・多様なコミュニティの形成を支援し、誰もが人とのつながりを感じるまちづくりを推進する。

●多様な手法による情報発信の充実
・Society5.0の実現や、５Ｇなど新技術を取り入れた情報発信を推進する。
・町民一人ひとりに寄り添った情報発信に努め、双方向のコミュニケーションを図る。

【主な施策】
●国際化の推進
●ふれあいの場の充実
●いきがいの創出
●青少年の地域参加の推進
●新しいつながりの創出（新）
●デジタル行政の推進
●広域連携の推進
●情報共有の推進

7　基本計画

3　つくる「未来へ輝く稼ぐ地域をつくる」

【背景】
・川島インターチェンジ南側地区開発の推進により、雇用の創出をはじめ稼ぐ力を向上させる。
・地域資源を活かした新たな産業を生み出す。
・町民の健康づくりを推進し、健康寿命を向上させる。
・農地集積を進め、農業の稼ぐ力を向上させる。
・新技術を取り入れた新たな生活様式、デジタル行政を普及する。
・民間活力の導入を進め、官民連携のまちづくりを推進する。

【目標数値（案）】

工業用地の拡充
農地集積箇所数

【重要施策】

●川島インターチェンジ南側地区開発の推進
・インター南側地区開発を推進し、新たな町の価値を創出する。
・雇用の創出や企業誘致など地域経済の活性化を図る。

●地域資源の総動員による稼ぐ力の向上
・農地集積を進め、農業の効率化による生産性向上を図る。
・IoT、AI技術を取り入れた新しい農業を推進する。
・地域資源の価値を高め、地域経済の活性化や稼ぐ仕組みの構築を図る。

【主な施策】
●健康づくりの推進
●秩序ある土地利用
●市街地の整備
●新しい産業の振興
●農業の振興
●商業の振興
●工業の振興
●観光の振興
●労働環境の改善（働き方改革）
●新たな行政サービスの導入（新）
●官民連携の推進（新）

7　基本計画

4　そだてる「未来を担う子どもたちをそだてる」

【背景】
・教育で選ばれるまちづくりを推進する。
・ＧＩＧＡスクール構想等を始めとした新たな教育のステージへの対応
・少子化に伴い学校規模適正化を改めて推進する。
・子育て支援から教育まで切れ目なく支援する。

【目標数値（案）】

学力の向上（県平均以上）
15歳未満人口の拡大

【重要施策】

●学校規模適正化の推進
・施設一体型（川中、つばさ北小、つばさ南小）、施設分離型（西中、中山小、伊草小）の小中一貫校を整備する。
・将来的に施設一体型の小中一貫校、1校とする方向性を示す。

●未来を担う子どもたちの育成
・IoTやＡＩを活用した教育を積極的に推進し、子どもたちの学びを支援する。
・地域の特色を活かし、川島町で学ぶ子どもたちの学力を向上する。
・保育園を民営化し、サービスの向上と効率的な運営を図る。

【主な施策】
●生涯学習の推進
●学校教育の充実
●社会教育の充実
●スポーツ・レクリエーションの充実
●子育て支援・児童福祉の充実

7　基本計画

4）政策分野別の構成

・4つの戦略目標ごとの構成を従来の政策分野ごとに構成すると以下のとおりとなる。（本編への記載は要検討。）

	まもる	つなぐ	つくる	そだてる
保健・医療・福祉	福祉のまちづくり 障がい者福祉の充実 高齢者福祉の充実 社会保障の充実	ふれあいの場の充実 いきがいの創出 青少年の地域参加の推進	健康づくりの推進	子育て支援・児童福祉の充実
自然環境・生活環境	ごみ処理適正化の推進 循環型社会の実現 公園・緑地の整備 河川環境の整備			
都市基盤・土地利用	住宅・住環境の整備 上下水道の整備 道路の整備 公共交通機関の維持		秩序ある土地利用 市街地の整備	
農業・商業・工業・観光	農地保全の推進	新しいつながりの創出	新しい産業の振興 農業の振興 商業の振興 工業の振興 観光の振興 労働環境の改善	
生涯学習・教育	芸術・文化の振興	国際化の推進		生涯学習の推進 学校教育の充実 社会教育の充実 スポーツ・レクリエーションの充実
自治・コミュニティ	自治・コミュニティの振興 消防・防災体制の充実 人権の尊重 交通安全の推進 消費者保護			
行財政運営	適正な行財政運営の推進	デジタル行政の推進 広域連携の推進 情報共有の推進	新たな行政サービスの導入 官民連携の推進	

8　資料編

・策定体制（明治大学、総合振興計画審議会、未来塾、職員ＰＴなど）及び策定経過を掲載。
・人口ビジョンにおける人口に将来見通しを掲載。（2060まで）

◎　その他

〇計画のネーミングについて

・総合振興計画とまち・ひと・しごと創生総合戦略を一体的に策定するため、計画名が長くなる。

・他の自治体の事例にあるように、独自の名称をつけるか検討。

●他自治体事例　※前後どちらかに「〇〇市総合計画」が付く

① 小田原市　・・・　おだわらＴＲＹプラン

② 厚木市　・・・　あつぎ元気プラン

③ 成田市　・・・　ＮＡＲＩＴＡみらいプラン

④ 足利市　・・・　あしかが元気輝きプラン

⑤ 秋田市　・・・　県都『あきた』成長プラン

⑥ 宮崎県　・・・　未来みやざき創造プラン

⑦ 水戸市　・・・　みと魁プラン

⑧ 小野市　・・・　夢プラン2020おの総合計画

⑨ 姫路市　・・・　ふるさと・ひめじプラン2020

⑩ 岐阜市　・・・　ぎふ躍動プラン・21

⑪ 市川市　・・・　Ｉ＆Ｉプラン21